

地域力で理想のまちを創る 平成20年度予算

4月からの1年間に区が行う事業とその経費を定めた20年度の予算が決まりました。

今号では、新年度予算の内容について紹介します。
問 財政課 ☎(5662)6148

予算総額 **3,040 億円**

一般会計 **1,977 億円**



平成20年度
予算編成にあたって

江戸川区長 多田正見

本区財政は、これまで進めてきた健全財政への取り組みと、都区財政調整交付金の増加により、安定した状況になってきています。

しかし、歳入の多くを依存財源が占めているため、様々な社会情勢に影響されやすく、決して楽観視できるものではありません。

また、学校をはじめ、耐用年数を迎えた公共施設の改築、高齢化や後期高齢者医療制度開始に伴う社会保障、区の地理的要因からの課題である災害対策などに、長期にわたって多額の経費

が見込まれています。このため、今後も健全財政をより一層推進していきます。

20年度予算は、地域力の源泉である「人づくり」や災害に強い「安全で安心なまちづくり」を柱に据えたものです。

区の特長である優れた地域コミュニティで、地域と共に進めてきた数々の取り組みは、高い評価を受けています。これからも、地域力を更に高め、区民と区が手を取り合い、誰もが満足できる住みよいまちの実現に向けて全力を尽くします。



■健全財政を推進し、地域力を更に高めて、理想のまちを実現！

平成20年度 重点施策

◎未来を担う人づくり

高い出生率を維持し、子どもたちの活気溢れる本区の魅力を更に高めるため、子どもたちの想像力を養う子ども未来館（仮称）の整備や、子ども医療費助成制度の拡充などを実施します。

◎学びと協働による区民文化づくり

本年は篠崎文化プラザなど、地域力を高める新たな施設が完成します。まちを支える力である地域力を活かし、男女共同参画社会の一層の推進などにより、豊かで彩りのある区民文化づくりを進めていきます。

◎いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

熟年者や障害者が地域で安心して生活できる環境を整えていきます。また、妊婦健康診査の公費負担回数などを拡大し、妊産婦に対する支援を充実していきます。

◎区民参加による環境づくり

プラスチックの資源回収を4月から区内全域で実施します。また、区施設の省エネ化などに一層取り組むとともに、えどがわエコセンターを中心に日本一のエコタウンを目指して「もったいない運動えどがわ」を積極的に推進します。

◎活力を創造する産業づくり

大学と企業などの産学交流を進め、販路の拡大や競争力のある製品づくりへの支援を行い、地域を支える区内産業の活力を高めていきます。

◎区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり

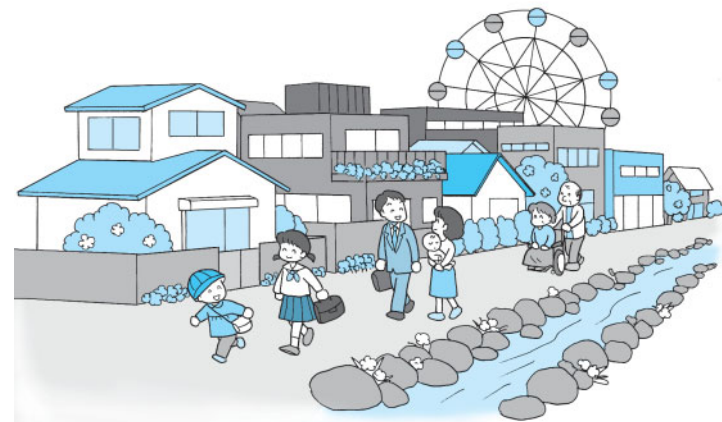
災害に強いまちをつくるため、区画整理事業などを継続しながら、耐震助成制度を拡充・新設し、建物の一層の耐震化を目指します。併せて、地震発生情報を事前に知らせる緊急地震速報装置の区施設への設置などを行います。

◎区民本位で効率的な区政運営

指定管理者が管理する施設の拡大や、窓口業務の委託化など、民間活力を更に活用して質の高い行政サービスを提供するとともに、健全財政をより一層推進していきます。

新年度予算の主な新規・拡充事業 → 2・3 面
数字でみる平成20年度予算 → 4 面

人づくりと安全・安心なまちづくりを進める主な新規・拡充事業



未来を担う人づくり

家庭・地域での子育てを応援

- ▶ **子ども医療費助成事業（拡）** 39億8,926万円
所得に関係なく、中学3年生までの医療費（保険診療分）の自己負担額を全額助成に拡充し、子育て世代の医療費の軽減を図ります。
- ▶ **子ども家庭支援センター事業（拡）** 4,871万円
子育てや家庭に関する総合的な相談・支援を行うとともに、子どもへの虐待を防止する体制を充実させます。また、健康サポートセンターやNPO法人との連携を強化し、支援が必要な家庭への育児支援ヘルパー派遣事業を拡充します。
- ▶ **民間病後児保育事業の助成（拡）** 1,600万円
病気の回復期にあって、まだ集団生活が困難なお子さんを一時的に預かる民間病後児保育施設への助成を、2施設に拡充します。
- ▶ **（仮称）子ども未来館の建設（新）** 6億3,660万円
未来を担う子どもたちの想像力を培い、子どもの可能性を広げる新たな場として、夢のある施設を建設します。現在の篠崎図書館の場所に、22年春の開設を目指し、隣接のポニーランドや中篠崎公園と一体で整備を進めています。



- ▶ **区立幼稚園の親子ひろば「あい・あい」の開設・運営（新）** 3,720万円
区立幼稚園を地域の幼児教育の場として活用し、地域の方と協力して実施する新しい事業です。就学前の親子はどなたでも参加でき、親子同士や地域の方々と楽しく交流できるひろばを運営します。

21世紀にふさわしい学校教育の推進

- ▶ **学校施設の整備（拡）** 56億2,396万円
全小中学校の普通教室にクーラーを設置し、快適な学習環境の整備を進めます。また、児童・生徒の安全を確保するため、20年度は大杉・大杉第二・瑞江・本一色・篠崎・上一色・上一色南小学校で耐震補強工事を実施します。更に全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を設置します。
- ▶ **生活リズム向上への取り組み（拡）** 980万円
規則正しい生活習慣の確立と体力向上に向け、生活リズム向上プロジェクトチームを組織して公開講座などを実施するとともに、食育推進委員会により、食に関する指導の充実を図ります。また、全児童・生徒を対象にした体力テストを実施します。



学びと協働による区民文化づくり

- ▶ **篠崎文化プラザの開設・運営（新）** 3億円
区の歴史や文化、産業などの企画展示機能と、篠崎図書館、江戸川総合人生大学、伝統工芸カフェで構成され、これらの機能を融合させることにより区の地域資源を内外にアピールしていく施設です。

- ▶ **松江区民プラザの運営（新）** 4,926万円
松江二丁目の旧松江図書館跡地に、区内で2番目のコミュニティ会館と図書館が一体となった複合施設が開館しました。読書、屋内スポーツ、音楽・文化活動など多目的な活動に利用できます。図書館は4月29日（祝）開館予定です。
- ▶ **平井地区区民施設の建設（新）** 6億6,266万円
22年4月の開設を目指し、区内で21館目となるコミュニティ会館の建設に向けて、用地取得や設計を行っています。
- ▶ **国際交流事業（拡）** 2,651万円
姉妹都市盟約締結20周年となるゴスフォード市をはじめ、諸外国との交流を積極的に行います。



男女共同参画社会の推進

- ▶ **女性センター事業（拡）** 1,532万円
新たに女性のための法律相談を月1回実施するなど、相談事業を充実させるとともに、女性の再就職支援セミナーや男女共同参画チャレンジ講座などの意識啓発事業を積極的に行っています。

安心できる消費生活の推進

- ▶ **消費者センター事業（拡）** 6,029万円
巧妙化する振り込め詐欺や悪質商法による苦情・相談に速やかに対応するため、8月1日（金）から消費者センターの相談受付時間を拡大するなど、更にきめ細かい消費者相談を実施します。



いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

みなさんの健康づくりを応援

- ▶ **妊産婦に対する健康診査（拡）** 2億1,608万円
妊婦健康診査での本人負担額の助成回数を2回から5回に拡充します。また、出産のために里帰りをし、都内の契約医療機関で健診が受けられない方が、里帰り先の医療機関で受けた健診料の一部助成回数を2回から5回に拡充します。
- ▶ **精神保健相談事業（拡）** 1,553万円
自殺を防ぐため、自殺予防に関する対策会議の設置や自殺予防キャンペーンによる啓発活動など、総合的な取り組みを行います。

熟年者や障害のある方などの生活を支援

- ▶ **介護老人保健施設に対する整備費の補助（新）** 1億5,000万円
22年4月に江戸川五丁目に開設予定の介護老人保健施設（医療ケアが必要な方が対象）の整備費用を補助します。
- ▶ **認知症高齢者グループホームの防火設備支援（新）** 7,000万円
施設の安全性向上のため、認知症高齢者グループホームに対し、スプリンクラーや自動火災報知設備などの設置費用を補助します。
- ▶ **中国残留邦人などへの生活支援事業（新）** 5億8,095万円
中国残留邦人とその配偶者などを対象に、高齢基礎年金制度を補完

- する新たな生活支援を実施します。生活保護費に代えて、状況により生活費のほか住宅費などを給付します。
- ▶ **障害者就労支援センターの運営（拡）** 6,723万円
一般就労を目指す知的・身体・精神障害者を対象とした相談・訓練・授産などの事業を充実させ、作業スペース拡大のための増築や、障害者就労支援・雇用促進のシンポジウムなどを開催します。

区民参加による環境づくり

- ▶ **プラスチックの資源回収の区内全域での実施（拡）** 7億2,224万円
19年度から段階的に対象地域を拡大してきたプラスチックの分別回収を、4月から区内全域で実施し、ごみの減量とリサイクルを更に推進していきます。
- ▶ **えどがわエコセンターの運営支援（拡）** 4,700万円
地球温暖化対策とごみ減量に向けた身近な取り組みとして「もったいない運動えどがわ」を推進します。マイバック運動や廃食用油をデューゼル燃料に再生する「えどがわ油田開発プロジェクト」などの実践的な取り組みを進めます。
- ▶ **「エコタウンえどがわ推進計画」の取り組み（新）** 480万円
区民一人ひとりが環境に配慮して暮らすまち、それがエコタウンです。エコタウンえどがわ推進計画（江戸川区地域エネルギービジョン）に基づき、区の二酸化炭素（CO₂）削減目標を定め、区民・事業者・区が一丸となって日本一のエコタウン実現を目指します。
- ▶ **第3次環境行動計画の推進（拡）** 1億1,026万円
タワーホール船堀や区内15か所の施設で省エネ改修工事を実施するほか、庁用車へのアイドリングストップ装置の導入などを進めます。
- ▶ **安全・安心まちづくり運動の推進（拡）** 4,430万円
地域のみなさんによる安全・安心パトロールや、地元中学生を中心とした自転車盗ゼロ作戦、青色回転灯装着車による夜間パトロールなどを継続・拡大します。更に防犯メールニュースによる情報提供を行うなど、区民のみなさんと共に犯罪抑止に向けた活動を強化します。



活力を創造する産業づくり

- ▶ **「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」の実施（拡）** 1,403万円
区内伝統工芸者・美大生・区が連携し、販売促進とより実践的な製品開発を行い、商品のブランド化を図っていきます。また篠崎文化プラザで商品を常設展示するなど、商品のPRを進めていきます。
- ▶ **商店街によるエコイベントなどの支援（新）** 300万円
商店街などが、えどがわエコセンターをアドバイザーにして実施する環境にやさしいエコ事業などに対して、経費の一部を補助します。
- ▶ **特産品ショッピングモールの運営（拡）** 504万円
区内産業の更なる振興のため、区を代表する特産品や伝統工芸品の新たな販路の開拓を目指し、従来のインターネット上での電子市場の



- 運営に加え、千葉商科大学丸の内サテライトキャンパスを活用し、商品展览展示するなど更に効果的な運営を行います。

区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり

地域の魅力を高めるまちづくり

- ▶ **都市基盤の充実・質の向上（拡）** 83億1,671万円
土地区画整理事業や、京成本線の立体化・沿線まちづくり、JR小岩駅周辺まちづくり、スーパー堤防事業、木造密集市街地の改善、地区計画の推進、都市計画道路の整備などを着実に進めていきます。
- ▶ **駅前広場・駐輪場の整備（拡）** 14億1,828万円
日本一の規模を誇る葛西駅地下駐輪場（収容台数9,400台）が4月に完成し、6月には篠崎駅地下駐輪場が完成します。また、新たに平井駅南口、一之江駅南口の機械式地下駐輪場の設計・建設工事を進めています。
- ▶ **新川千本桜の整備（拡）** 4億2,734万円
江戸時代に「塩の道」として栄えた新川の歴史的背景を活かし、千本の桜を植えるほか、江戸情緒溢れる川辺づくりや人道橋の架橋など、新たな名所の誕生に向けて取り組みを進めます。



- ▶ **環七シャトルバスの運行（拡）** 4,974万円
新たな南北交通の手段として19年度から開始した環七シャトルバスの試験運行を4月以降も継続します。20年度は、通勤通学時間帯の増便やバス停・バスレーン整備の検討など、本格運行に向けて走行環境の向上に取り組みします。
- ▶ **（仮称）水辺のスポーツガーデンの開設（新）** 5億4,579万円
東篠崎二丁目地先の広大な旧江戸川河川敷（約37,000m²）を活用し、少年野球場、テニスコート、ローラースポーツ場などの多目的機能を備えた区民のレクリエーション活動の拠点となる施設の整備を進めます。

安全で災害に強いまちづくり

- ▶ **防災計画・防災センターなどの取り組み（拡）** 8,967万円
区職員の防災対応力を強化するため避難所開設訓練などを行います。また、区内の事務所など主要地点に雨量計や風速計を設置し、地震や風水害への対応をより的確に行うとともに、区役所本庁舎5階を防災センターとして改修し、災害時の情報を迅速に集約できるシステムの導入を行います。
- ▶ **緊急地震速報装置の設置（新）** 1億1,938万円
地震発生を事前に音声で知らせる緊急地震速報装置を全小・中学校、各事務所・図書館・コミュニティ会館など区施設244か所に設置します。
- ▶ **住宅などの耐震化促進（拡）** 2億6,922万円
非課税の高齢者世帯などに限られていた住宅耐震工事の助成対象を、全世帯に拡充します。戸建て住宅だけでなく分譲マンションも対象となります。併せて、災害時に緊急輸送道路となる沿道の建築物や私立幼稚園・保育園などの耐震改修設計・工事助成を新設するなど、耐震化支援を一層進めていきます。





広報

えどがわ

2008年
平成20年 4/1

4

予算特集号

■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

数字でみる 平成20年度予算

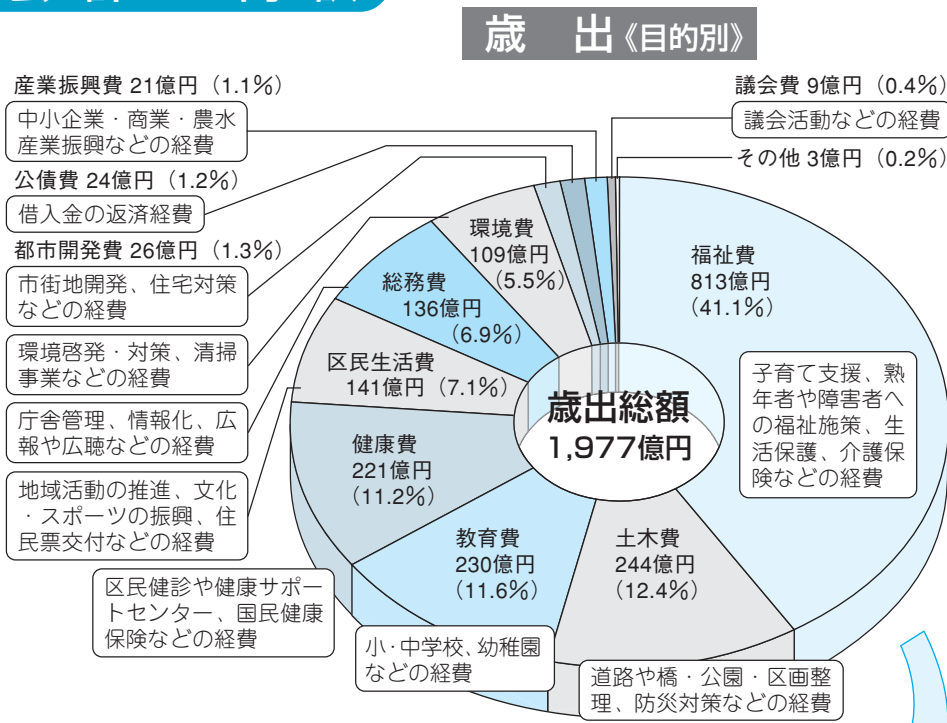
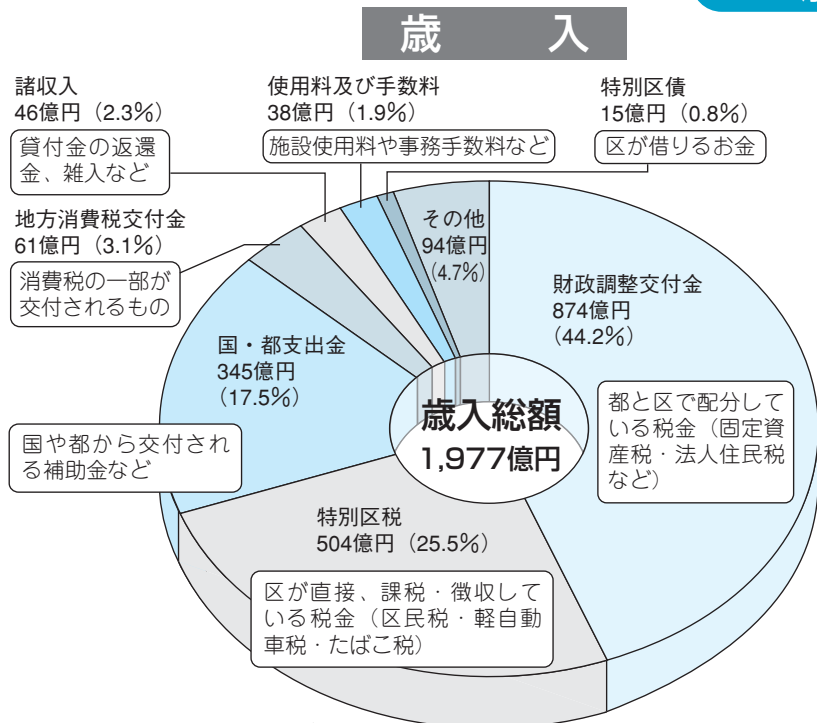
区は、区民のみなさんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結する様々な施策を行っています。限られた貴重な財源を区民サービス向上のため有効かつ適切に活用し、安全・安心の区政を進めます。

問 財政課 ☎(5662)6148

会計別予算の規模

区 分	20 年 度	19 年 度	増減率
一 般 会 計	1,977億2,489万3千円	1,968億1,886万1千円	0.5%
国民健康保険事業特別会計	690億6,109万1千円	674億 349万6千円	2.5%
老人保健医療特別会計	42億9,855万6千円	331億1,885万7千円	△87.0%
介護保険事業特別会計	251億 784万7千円	235億1,652万1千円	6.8%
後期高齢者医療特別会計	77億7,028万4千円	—	—
合 計	3,039億6,267万1千円	3,208億5,773万5千円	△5.3%

一般会計の内訳



※金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。構成比は千円単位での比率です。

歳出の性質別の内訳

扶助費 533億円 (27.0%)	人件費 403億円 (20.4%)	物件費 284億円 (14.4%)	投資的経費 263億円 (13.3%)	繰出金 194億円 (9.8%)	補助費等 191億円 (9.6%)	その他 109億円 (5.5%)
生活保護費、児童手当、障害者福祉手当などの経費	職員給与、退職金、委員の報酬などの経費	物品購入、仕事の委託などの経費	道路や公園・施設の整備や用地取得などの経費	国民健康保険、介護保険など特別会計を支える経費	幼稚園保育料や学校給食費の補助、融資の利子補給などの経費	維持補修費66億円、公債費24億円ほか



こんなふうに
区の予算が
使われているのね！

平成20年度一般会計予算額を1万円に換算しました

熟年者福祉 障害者福祉などに 2,201円 	子育て支援などに 1,911円 	道路・公園の整備 まちづくり、防災対策などに 1,366円 	学校教育などに 1,163円 	健康施策 国民健康保険事業などに 1,116円
地域活動の推進 文化・スポーツの振興などに 712円 	環境啓発・対策 清掃事業などに 552円 	区の借入金の返済に 121円 	産業の振興などに 109円 	その他（区政運営・議会活動） 749円

平成20年度予算編成にあたって➡1面／新年度予算の主な新規・拡充事業➡2・3面